

国語

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	現代の国語		単位数	3単位
学 科	農業科		学 年	2年
教科書	高等学校 標準現代の国語（第一学習社）	副教材	なし	

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	世界を広げる 『なぜ本を読むのか』 『世界は謎に満ちている』 生活の中の表現 『法律の改正に係る文章を比べる』	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の効用について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・改正前後の法律文を読み比べ、必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけ、理解したことをまとめる。
2 学期	話で伝える 『理想の修学旅行をプレゼンする』 人間と文化 『水の東西』 書いて伝える 『自校の生徒の生活実態を調査する』	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・相手と目的に応じた報告文のあり方を理解する。
3 学期	社会と人間 『「弱いロボット」の誕生』 書いて伝える 『書き方の基礎レッスン』 話して伝える 『スピーチで自分を伝える』	<ul style="list-style-type: none"> ・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。

その他	
-----	--

国語

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	言語文化	単位数	3単位
学 科	農業科	学 年	1年
教科書	新編言語文化（東京書籍）	副教材	なし

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	現代文編 1 随筆 『さくらさくらさくら』 古文編 1 古文入門 『児のそら寝』 現代文編 2 小説 『とんかつ』 漢文編 1 漢文入門 『訓読の基本』	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特徴的な語彙を増やす。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の我が国の言語文化の特徴的な語彙を増やす。 ・文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現を理解する。 ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解する。
2 学 期	現代文編 3 詩歌 『少年の日』・『I was born』 古文編 2 随筆 古文編 2 随筆 漢文編 1 漢文入門 『五十歩百歩』 現代文編 2 小説 『羅生門』	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムや形式に注意し詩を読み味わい、学習課題に沿い、作者の物事に対する感じ方について考える。 ・古典特有の表現を理解し、作者の考えを的確に捉える。 ・作品の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割を考える。 ・内容を理解し、発表や討論を踏まえた他者の意見を聞き、さらに考察を深める。
3 学 期	古文編 4 物語 『伊勢物語』 現代文編 3 小説 『夢十夜』 漢文編 3 論語 『論語』	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。 ・歌物語の特徴や表現に仕方を理解し、内容を捉える。 ・内容・構成を的確に捉える。 ・小説の中に展開する作者の独自の世界を味わう。 ・作品に表れているものの考えかた、内容を理解する。 ・作品を理解し、自らのものの見方、考え方を深める。

その他	
-----	--

国語

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	文学国語	単位数	3単位
学 科	農業科	学 年	3年
教科書	標準文学国語（第一学習社）	副教材	なし

学習 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・定期考査 ・単元別テスト ・ノート ・課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	現代文編 1 随筆 『さくらさくらさくら』 古文編 1 古文入門 『児のそら寝』 現代文編 2 小説 『とんかつ』 漢文編 1 漢文入門 『訓読の基本』	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特徴的な語彙を増やす。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の我が国の言語文化の特徴的な語彙を増やす。 ・文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現を理解する。 ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解する。
2 学 期	現代文編 3 詩歌 『少年の日』・『I was born』 古文編 2 随筆 古文編 2 随筆 漢文編 1 漢文入門 『五十歩百歩』 現代文編 2 小説 『羅生門』	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムや形式に注意し詩を読み味わい、学習課題に沿い、作者の物事に対する感じ方について考える。 ・古典特有の表現を理解し、作者の考えを的確に捉える。 ・作品の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割を考える。 ・内容を理解し、発表や討論を踏まえた他者の意見を聞き、さらに考察を深める。
3 学 期	古文編 4 物語 『伊勢物語』 現代文編 3 小説 『夢十夜』 漢文編 3 論語 『論語』	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。 ・歌物語の特徴や表現に仕方を理解し、内容を捉える。 ・内容・構成を的確に捉える。 ・小説の中に展開する作者の独自の世界を味わう。 ・作品に表れているものの考えかた、内容を理解する。 ・作品を理解し、自らのものの見方、考え方を深める。

その他	
-----	--